

第 2 回京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定検討会議 先進地視察 報告書

1 視察概要

視察先：海南 nobinos（ノビノス） ※所在地：和歌山県海南市日方 1525-6

視察日：令和 5 年 9 月 11 日（月）

参加者：検討会議委員 6 人、市職員 5 人

委員（川口委員、藤井委員、藪中委員、山副委員、松岡委員、荻野委員）

市職員（川口市長公室長、都市・地域拠点整備推進室 井上室長、石井主任、楊川主事
亀田市立図書館長）

対応者：海南市教育委員会 生涯学習課 山部班長

2 視察目的

都市拠点公共施設整備基本計画を策定するに当たり、人口も同規模（約 4 万 7 千人）の海南市で令和 2 年に整備された、図書館や子育て支援施設、市民利用スペース等を併せ持った複合施設である「海南 nobinos」を視察し、一つの先進事例として検討の参考とする。

3 施設概要

旧海南市庁舎及び海南市児童図書館跡に整備された、図書館機能・市民活動生涯学習活動支援機能・子育て支援機能・カフェ・広場などの複数の施設機能を有する市民交流施設

令和 2 年 6 月 1 日に開設し、年間約 59 万人が来館（近日には累計来館者数 200 万人を突破する見込み）、計画時点では、旧市役所の来庁者数と同程度の年間 15 万人程度の来館を見込んでいた。

「図書館の入り口」として、敷居の低い図書館を目指して整備がなされた。図書館は静かにしなければならないところだという幼少期から刷り込まれてきた考え方を取り払えるように、2 階・3 階はある程度騒いでも大丈夫な空間として小さな子ども連れでも気兼ねなく利用できるように、4 階は静かで落ち着いて読書や作業ができるようにゾーニングされている。

南海トラフ地震を想定した津波緊急避難ビルとして活用するため（避難所の位置づけではない）、1 階は津波の力を逃がすためにピロティー式の駐車場となっている。

児童図書館の跡地ということもあり、5 万冊の絵本を開架している。（日本一の絵本ライブラリー）

【構造】 鉄骨鉄筋コンクリート造＋一部鉄骨造／4 階建て

【敷地面積】 約 9,900 m²

【建築面積】 約 3,600 m²

【延床面積】 約 7,900 m²

【建物高さ】 約 20m

【運営手法】 指定管理者制度（令和 2 年度～7 年度の 5 か年）

<フロア構成>

【1階】駐車場（100台）、駐輪場（100台）、音楽練習室（楽器備え付け）

※駐車場：2時間まで無料、以降は1時間毎に100円

【2階】絵本・マガジンのライブラリー、ノビノスホール（254席）、多目的室1～3、ギャラリー、ノビノスパーク（屋内あそび場）、託児室、カフェ（スターバックスコーヒー）

※託児室：館内利用者のみ対象、市外住民も利用可能、予約不可で各クール（2時間）毎に受付、利用料は市民は200円/1クール、市外住民は400円/1クール

【3階】こどものライブラリー（児童書）

【4階】メインライブラリー（小説、実用書、新聞など）、会議室A・B、学習席、閲覧ラウンジ

<関連企業>

【建築設計】 東畑建築事務所

【全体デザインディレクション・サインデザイン】 HIROMURA DESIGN OFFICE

※海南省にまつわる伝統色をDICカラーガイドから17色選定し、館内サインなどに使用

【インテリアデザイン】 藤森泰司アトリエ ※カラフルで柔らかい書架をデザイン

【遊具デザイン】 小林和生

【植栽計画】 TREEFORTE

<蔵書構成>

区分	海南ノビノス	下津図書館
一般書	53,981冊	58,853冊
絵本	52,532冊	15,380冊
児童書	31,836冊	26,005冊
雑誌	4,594冊	5,055冊
視聴覚資料	308冊	1,320冊
紙芝居	248冊	1,066冊
合計	143,499冊	107,679冊

4 視察内容

<検討・整備経過>

【平成26年度～27年度】「海南省庁舎跡地活用懇談会」にて、庁舎跡地活用について、ワークショップ形式で検討（2回＋視察）し、基本方針を策定（図書館、子育て支援施設、カフェなどを盛り込むことが決定）

・ 基本方針策定時のワークショップは15人程度（50代から60代が多く、60代が半数以上）。若者の声については、基本計画策定の際に、市内小中学校にヒアリングを行うことで取り込んだ。

【平成28年度】 庁舎跡地整備基本計画策定支援業務に係る民間事業者公募

選定結果：(株)図書館流通センター

業務内容：基本計画の策定（ワークショップ運営含む）、設計の仕様書作成、
アドバイザー、指定管理業務

【平成 29 年度～30 年度】基本設計・実施設計、現市庁舎等除却工事

【平成 30 年度～31 年度】建設工事

※カフェの誘致企業については公募により決定（スターバックスコーヒー）

※計画策定段階は企画財政課が中心となり、設計以降については生涯学習課が中心となって進めた。

<事業費・財源>

- 総事業費 36 億 8,000 万円（うち解体費用：2 億円、建築費用：28 億 6,000 万円）
- 財源は、社会資本整備総合交付金（立地適正化事業、1/2 補助）。基金から 3,000 万円などを充当

<指定管理者>

TRC 海南（3 社の共同企業体）

- ・(株)図書館流通センター（代表企業、図書館管理運営業務）
- ・大揚興業(株)（清掃業務）
- ・(株)明日香（保育等業務）

- 指定管理料は約 1 億 3,500 万円（実際の経費としては約 1 億 5,000 万円かかっており、指定管理者が負担している状況）
- 図書の選書や配架などは指定管理業務に一貫しており、図書購入費用も指定管理料に含んでいる。

<諸室の整備、運用について>

- 開館時間は 9 時～21 時 30 分
- 図書館機能と託児室は毎週木曜日を休止日としているが、自動貸出機及び図書返却口が整備されているため、図書の閲覧・貸出・返却、授乳室・子どもトイレの利用は休止日であっても可能。
弊害として、休止日であっても多くの利用があるため、開館日と同程度の従業員を稼働させる必要が生じており、想定以上の人件費が必要になっている。
- スタッフは 26 人程度在籍しており、通常時で早番 9 人、遅番 7 人の計 16 人程度が 1 日あたり出勤している。
- 託児室については、利用者が固定化しないように、また、まずは来館いただくために、あえて予約制はとっておらず、1 クールあたり 4 人の枠が埋まっていた場合には、次のクールをご案内して対応しているが、今のところ問題はない。
- IT ラボは、もともと PC・タブレットの貸出機能も有していたが、現在は総合カウンターがその役割を果たしているため、施設内で生涯学習活動を行っている利用者が大判プリンターやコピー機を利用するためのスペースになっている。
- 視聴覚スペースの利用は、従前施設における利用が特定の利用者のみで固定化されていたため、あえて設けておらず、借りた DVD の視聴などを希望する場合は、パソコンの貸出により対応している。対面朗読室なども設けていない。

- 海南市内には、600 席規模の市民ホール（海南市民交流センター）が別に所在しているため、使い勝手のよい 200 席規模のホールを整備した。

<利用状況>

- テスト期間を中心に学生の利用が非常に多くなり、一般の利用がしにくくなっているという課題がある。
- 30 歳～40 歳代の男性の来館が少なく、そういった層を呼び込む方策を検討しているところ。
- 駐車場は満車状態になることもあるが、近隣に比較的安価な民間駐車場もあり、そちらを利用いただいている。施設への訪問手段は車が最も多く、62%程度。学生が駅から自転車や徒歩で訪問するケースも多い。
- 貸館利用は高齢者が多い。

	海南ノビノス		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
開館日数	298 日	359 日	359 日
来館者数	523,282 人	584,182 人	597,066 人
(一日平均来館者数)	1,756 人	1,627 人	1,663 人
貸出者数	83,608 人	87,907 人	81,411 人
(一日平均貸出者数)	281 人	245 人	227 人
蔵書冊数	132,370 冊	138,231 冊	143,499 冊
購入冊数	5,397 冊	5,597 冊	5,286 冊
貸出冊数	389,731 冊	418,992 冊	385,506 冊
(一日平均貸出冊数)	1,308 冊	1,167 冊	1,074 冊
新規登録者（団体含む）	8,002 人	3,158 人	2,425 人
読書通帳発行数	764	522	290
団体貸出冊数	2,921 冊	7,926 冊	7,133 冊

<その他>

- 当初想定以上の利用者があり、施設や備品の破損が多く、想定以上の修繕料がかかっている。また、光熱費も上がっている。そういった状況のなかで、次回の指定管理業務委託の更新のタイミングでどこまで予算確保ができるか不安がある。ある程度余裕をもって予算確保しておかなければ苦しくなる可能性がある。
- 本施設については、敷居が低く、利用者が固定化されにくい施設を目指しているが、人によって要望は異なるため、施設の在り方は一長一短で必ず不満は出るもの。海南市には南に下津図書館というオーソドックスな図書館があるため、そちらとの住み分け、役割分担ということで整理している。
- 最近では、夜間の時間帯にマナーの悪い学生の利用が増えつつあり、対策を検討しているところ。施設利用者からは、スタッフの巡回の間隔を早めてより目配りするようにしてほしいとの声もあった。

<館内外写真>



<正面（外観）①>

- ・ガラス屋根の大きなひさし（ノビノスルーフ）
- ・広場の足元はゴムチップ素材でやわらかい。



<正面（外観）②>

スターバックス前のスペースでは、ライブ活動なども実施されているが、イベント利用対象は公共的な取組に限られる。（市が補助している市民の取り組み含む。営利事業不可）



<1階 駐車場>

- ・収容台数 100 台で若干手狭な印象
- ・ピロティー式のため雨に濡れることなく館内に入る事が可能



<2階 正面玄関付近)>

- ・正面には総合案内、自動貸出機、図書返却口がある。
- ・右手側にはカフェ（スターバックス）があり、借りた本を読むこともできる。
- ・会話や食器を使う音などが自然と生まれる空間であるため、小さな子ども連れの家族も気兼ねなく入ることができる雰囲気。
- ・天井も高く開放的な雰囲気



<2階 ラウンジ>

- ・什器自体はシンプルな作りだが、座面の色が変えてあるなど、明るい雰囲気
- ・床も段差はほぼなく、ベビーカーや車いすでも移動は問題ない。



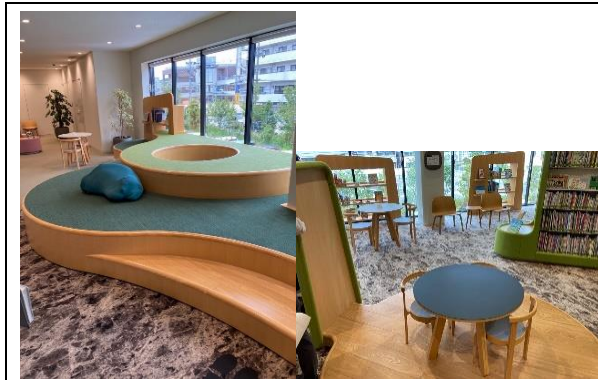
<2階・3階 子ども用書架>

- ・高さや色も様々で、配置も並行ではない。
- ・家具デザイナー藤森泰司氏によるデザインで、ぶつかってもケガをしない柔らかい素材を活用



<2階 飲食スペース>

- ・持ち込んだものを飲食可能なスペース



<2階 読書スペース>

・椅子に座る以外にも、様々なスペースで読書可能



<2階 総合案内の奥>

・高さのある書架の下部に 80 インチと 50 インチのデジタルサイネージがあり、館内のサービスやイベント、市フェイスブックページなどが表示されている。

・実際に画面に触れて、各表示内容のグッドボタンを押すことができる。(いいね数はリアルタイム反映)



<雑誌スポンサー (左) >

・雑誌の購入費用を負担することで雑誌スポンサーとなり、館内のギャラリーでの一定期間の展示実施や、デジタルサイネージでの社名表示などをリターンとして享受できる。

<2階 えほんのライブラリー>

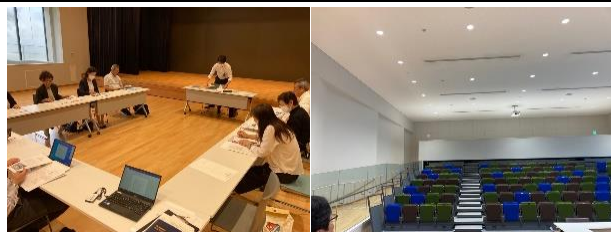
・表紙が見える状態で配架された書架。飲食スペース隣接のため、子ども用の手洗い場もある。



<自動貸出機 (左) >

<ギャラリー (右) >

・パネルは磁石で壁に付く仕様のため、壁に傷が残らない。



<2階 ノビノスホール フロア (左) >

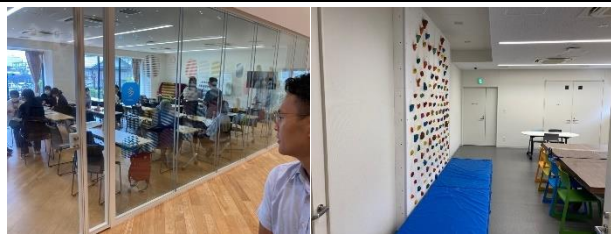
・ステージも低く、ホール内の音響設備も最低限の印象だが、ピアノも設置され、音楽の発表会にも対応可能

<2階 ノビノスホール 可動式座席 (右) >



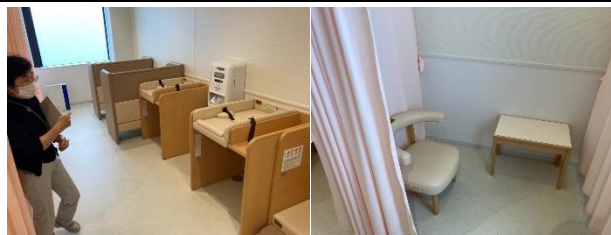
<2階 ノビノスパーク>

- ・乳幼児のための雨でも遊べるスペース
- ・託児室が隣接しており、2時間のクール毎の定員内、先着で、市内外住民問わず託児可能



<2階 多目的室>

- ・防音機能、モニター、大型の鏡、ボルダリングなどの機能をそれぞれ有した多目的室が3室



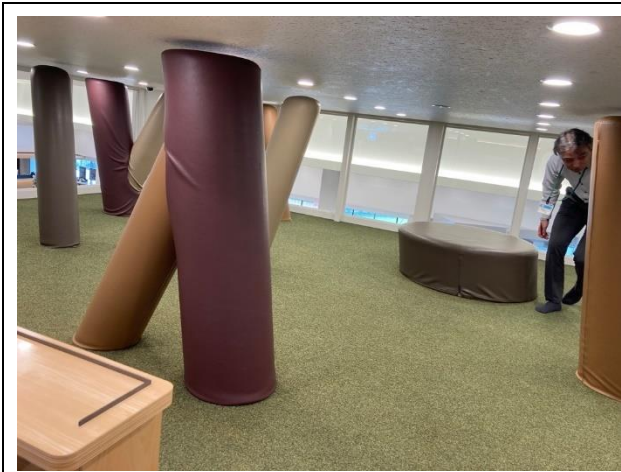
<2階 授乳室>

- ・授乳やおむつ替えのためのスペース
- ・浄水給湯器、紙おむつ専用ゴミ箱もあり



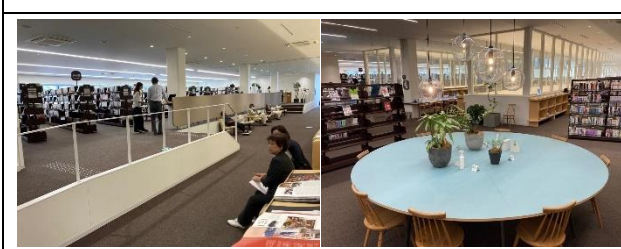
<3階 こどものライブラリー>

- ・児童書のフロアとして、押し入れのようなブース席など、秘密基地のような場所で読書できる。



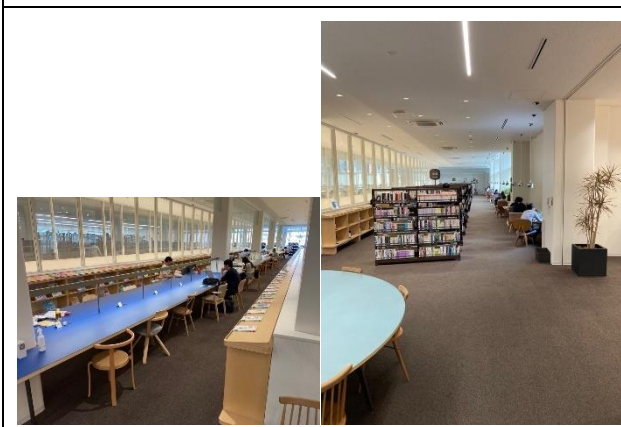
<3階 読書の森>

・天井高が非常に低いスペースで寝転がりながら読書できるスペース



<4階 メインライブラリー>

・静かでゆったりとくつろげる大人向けのフロア



<4階 メインライブラリー>

・吹き抜けに挟まれた中央部分及び窓際に閲覧ラウンジ及び学習席が配置されており、テスト期間中には多くの学生の利用もある。